

保育所等における国際保育の実態調査について

山梨県では、乳幼児期から国籍や民族等の違いに触れ、互いに尊重する心を育てていく国際保育を推進しており、この度、県内の国際保育の実態を把握するため、各保育所・認定こども園・幼稚園・地域型保育事業所を対象としたアンケートを実施いたします。御回答いただいた内容は、秘密を厳守し、個別の結果を公表することはありませんので、現況をありのままに御記入ください。（調査基準日は、令和7年6月1日としてください。また、調査票内の「外国にルーツを持つ子ども」とは、国籍にかかわらず、父・母の両方、または、そのどちらかが外国出身であると思われる子どもを指します。日々子どもや保護者とのやりとりの中で、貴園として把握されている範囲で御回答いただければ結構です。本調査のために市町村や保護者に改めて御確認いただく必要はありません。なお、調査票内の「保育士」とは幼稚園教諭を含み、「保育補助者」とは幼稚園教諭補助者を含みます。）

* 必須

1. 施設種別 *

- ☐ 認可保育所
- ☐ 認定こども園
- ☐ 幼稚園
- ☐ 地域型保育事業所

2. 設置主体 *

- ☐ 公立
- ☐ 私立

3. 施設所在地 *

- ☐ 甲府市
- ☐ 富士吉田市
- ☐ 都留市
- ☐ 山梨市
- ☐ 大月市
- ☐ 韮崎市
- ☐ 南アルプス市
- ☐ 北杜市
- ☐ 甲斐市
- ☐ 笛吹市
- ☐ 上野原市
- ☐ 甲州市
- ☐ 中央市
- ☐ 市川三郷町
- ☐ 早川町
- ☐ 身延町
- ☐ 南部町
- ☐ 富士川町
- ☐ 昭和町
- ☐ 道志村
- ☐ 西桂町
- ☐ 忍野村
- ☐ 山中湖村
- ☐ 鳴沢村
- ☐ 富士河口湖町
- ☐ 小菅村
- ☐ 丹波山村

4. 施設名

5. ご回答者の職・氏名

6. 令和7年6月1日現在の入所児童数計（記入例：100） *

7. 全ての園にうかがいます。今から2年前（令和5年6月1日時点）と比較して、貴園における外国にルーツを持つ子どもの受け入れ状況の変化について、あてはまるもの1つを選択してください。
※少ない：園児全体のおよそ1割未満、多い：園児全体のおよそ1割以上を目安としてお答えください。
（選択は1つまで） *

- ☐ 2年前は少なかったが、増加している
- ☐ 2年前から多かったが、さらに増加している
- ☐ 2年前から少なく、あまり変化はない
- ☐ 2年前から多く、あまり変化はない
- ☐ わかならい
- ☐ その他

8. 貴園では、令和7年6月1日時点において、外国にルーツを持つ子どもがいますか。いる場合はその他欄に人数を記載してください。
※貴園で把握されている範囲でご回答ください。（選択は1つまで） *

- ☐ いない
- ☐ その他

9. 問8でいると答えた園にうかがいます。家庭での母国語はどの言語ですか。（複数選択可）

- ☐ 英語
- ☐ ポルトガル語
- ☐ スペイン語
- ☐ 中国語
- ☐ ベトナム語
- ☐ その他

10. 全ての園にうかがいます。貴園において、外国にルーツを持つ子ども・保護者を支援するために人員配置等を行っていますか。（複数選択可） *

- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを支援するため、母語が話せる保育士・保育補助者を配置している
- ☐ 保育の負担を軽減するため、一般の保育士・保育補助者を配置している
- ☐ 言語面のサポートに特化して、保育士・保育補助者ではない専門通訳を配置している
- ☐ 言語面のサポートが必要ときに、自治体職員の派遣を要請している
- ☐ 言語面のサポートが必要ときに、民間の通訳者の派遣を要請している
- ☐ 言語面のサポートが必要ときに、地域のボランティア等を活用している
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

11. 問10で1, 3～6を選択した「言語面のサポートができる人材を活用している」場合にうかがいます。具体的にどのように活用されていますか。（複数選択可）

- ☐ 入園説明会等の行事
- ☐ 日頃の保護者とのやりとり
- ☐ 日頃の子どものやりとり
- ☐ 保護者とのトラブル発生時
- ☐ 子どもの病気や怪我等の緊急対応時（専門用語を必要とするような場面）
- ☐ その他

12. 問10で1, 3～6を選択した「言語面のサポートができる人材を活用している」場合にうかがいます。活用する上での課題はありますか。（複数選択可）

- ☐ 人数が足りない
- ☐ 利用したいときに利用できない
- ☐ 正しく伝わっているかわからない
- ☐ 通訳と子ども・保護者のやりとりに保育者が関われない
- ☐ 特に課題はない
- ☐ その他

13. 全ての園にうかがいます。貴園において、翻訳機器や翻訳アプリを活用していますか。（複数選択可） *

- ☐ 市町村からの補助等を受けて、翻訳機器（ポケトーク等）を導入している（スマートフォンの翻訳アプリ利用は除く）
- ☐ 園独自に、翻訳機器（ポケトーク等）を導入している（スマートフォンの翻訳アプリ利用は除く）
- ☐ スマートフォンの翻訳アプリを利用している
- ☐ 利用していない

14. 問13で1～2を選択した「翻訳機器を導入している」場合にうかがいます。具体的にどのように活用されていますか。（複数選択可）

- ☐ 入園説明会等の行事
- ☐ 日頃の保護者とのやりとり
- ☐ 日頃の子どもとのやりとり
- ☐ 保護者とのトラブル発生時
- ☐ 子どもの病気や怪我等の緊急対応時（専門用語を必要とするような場面）
- ☐ その他

15. 全ての園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもへの教育・保育を充実させるため、園として以下のような取組を行っていますか。（複数選択可） *

- ☐ 園内で研修や勉強会等を開催している
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもについて、通訳や母語が話せる保育士・保育補助者と、一般の保育士とで情報共有する機会を設けている
- ☐ 他の園との情報交換を行っている
- ☐ 園外の研修に参加している
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

16. 全ての園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもを支援するため、通常の教育・保育の中で以下のような取組を行っていますか。（複数選択可） *

- ☐ 子どもの母語による声かけ
- ☐ 園内の表示の多言語化
- ☐ コミュニケーションや認知に課題があるように見られる場合の対応
- ☐ わかりやすい日本語やイラスト、ジェスチャー等の使用
- ☐ 宗教や生活習慣の違いへの配慮（給食対応、行事への参加配慮など）
- ☐ 各国の文化をお互いに知るための取組（各国の言葉を用いた手遊び、絵本の読み聞かせなど）
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

17. 全ての園にうかがいます。貴園では、力を注いでいる異文化プログラム、行事などの取組はありますか。（複数選択可） *

- ☐ 園児を地域の外国人の行事・集まりへ参加させたり、見学させる
- ☐ 外国語学習を取り入れている
- ☐ 日本語教室を開いている（外国籍等園児・保護者対象）
- ☐ 外国の遊び・文化・食事を取り入れている
- ☐ 外国語の広報物を発行している
- ☐ 特に行っていない
- ☐ その他

18. 全ての園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもを積極的に受け入れたいですか。（選択は1つまで） *

- ☐ 積極的に受け入れたい
- ☐ どちらかと言えば受け入れたい
- ☐ どちらかと言えば受け入れたくない
- ☐ 受け入れたくない、もしくは受け入れできない

19. 問18で「積極的に受け入れたい」、「どちらかと言えば受け入れたい」と答えた園にうかがいます。その理由は何ですか。（複数選択可）

- ☐ 国籍等に関係なく、園として入所希望者を受け入れるのは当然のことだから
- ☐ 園として外国にルーツを持つ子どもを受け入れる体制を整えている、もしくは整えることが可能だから
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで、日本人の園児の多様性や多様な文化等への理解が広がるから
- ☐ 外国にルーツを持つ子どもを受け入れることで、保護者の外国文化への相互理解が深まるから
- ☐ その他

20. 問18で「どちらかと言えば受け入れたくない」、「受け入れたくない、もしくは受け入れできない」と答えた園にうかがいます。その理由は何ですか。（複数選択可）

- ☐ 園として外国にルーツを持つ子どもを受け入れる体制を整えていないから
- ☐ 人手が足りず、対応したくてもできないから
- ☐ 保護者とコミュニケーションがうまく取れず、受け入れに不安があるから
- ☐ 過去に受け入れたが、園児や保護者間でトラブルが目立ったから
- ☐ 文化の違い等から自園の教育・保育方針が保護者に理解されにくいから
- ☐ その他

21. 全ての園にうかがいます。外国にルーツにルーツを持つ子どもの受け入れに関して、貴園ではどのような課題がありますか。（選択は上位3つまで） *

最大 3 個のオプションを選択してください。

- ☐ 外国にルーツを持つ子どもや保護者の具体的な困りごとやニーズがわからない
- ☐ 通訳や翻訳を行える人員が足りない
- ☐ 専門的な知識・理解が不十分である
- ☐ 個別的な配慮などを実施する上での人員が足りない
- ☐ 個別的な配慮などを実施する上での事業費が足りない
- ☐ 自治体との連携体制が十分に構築できていない
- ☐ 他の園が実施している支援・サポート等の参考情報が足りない
- ☐ 特に課題と感じていることはない
- ☐ その他

22. 全ての園にうかがいます。外国にルーツを持つ子どもを受け入れるために行政にどのような支援を望みますか。（選択は上位3つまで） *

- ☐ マニュアルなど外国人保育への参考書配付
- ☐ 通訳のあっせん
- ☐ 外国人保育への保育士雇用費用の補助
- ☐ 外国人保育への子育て支援員等補助員雇用の補助
- ☐ 外国語による入園のしおりの配付
- ☐ 研修等受講費用の補助
- ☐ 各種お便りの翻訳
- ☐ 通訳・翻訳・国際保育活動等への伴走支援（サポート人材による園への定期訪問 等）
- ☐ 保育士・保育補助者を対象とした研修会の開催
- ☐ 特になし
- ☐ その他

23. 県では、在住外国人向け一元的相談窓口「やまなし外国人相談支援センター」を開設していますが、知っていますか。 *

- ☐ 知っている
- ☐ 知らない

24. その他、外国にルーツを持つ子ども・保護者の受け入れに関してご意見等がありましたら、記載してください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。